

令和4年度 事業報告書

(第12期)

一般社団法人グローバル人財サポート浜松

令和5年6月

令和4年度の成果と課題

近年、持続可能な開発目標（SDGs）や「ビジネスと人権」に関するガイドラインの策定に加え、米国バイデン政権における国務省による外国人技能実習制度への評価など、国際社会における人の多様性や人権に対する関心が高まっています。日本は、経発展と社会的課題の解決を両立していく Society5.0 の実現を目指しており、人の様々な格差をなくし、多様なニーズや潜在的なニーズに対応していく必要があります。

また、これからのデジタル時代を生き抜くためにも企業は人的資本に関する情報開示が求められており、人的投資は投資家からの企業評価基準ともなっています。

こうしたことから、当法人としては、令和4年度の重点事業として、①企業における外国人労働者の適正な受け入れと労働環境の整備、②多様な人材の育成と就労支援を二つの大きな柱とし、「職場の外国人受け入れ環境整備プロジェクト」と「オンラインマッチングハンズオン支援事業」を重点項目として、事業を推進してまいりました。職場の外国人受け入れ環境整備プロジェクトでは、名古屋出入国管理局と外国人雇用企業ネットワークの構築ができるようになりました。オンラインマッチングハンズオン支援事業は、日本語教育との連携で国内外の外国人のみなさんが日本で自己実現を果たせるようにサポートすることとしましたが、日本語能力習得よりも就労マッチングの希望がありました。

フィリピンにおける Philippines college of Technology との業務締結では、20名の日本語コース受講者が集まり、最終的に5名の学生が令和5年7月に実施される日本語能力試験 N4 合格を目指しています。また、この学生が看護・介護コース修了生ということから、日本での特定技能ビザでの就労を予定しており、紹介先の開拓が始まりました。

さらに、令和4年度は新しい挑戦の年と位置づけ、グローバル人財サポート浜松 2.0 に向けて、新たに職業紹介事業も始まりました。企業と外国人のマッチングを丁寧に実施していきたいと考えております。

会員の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年6月吉日

在住外国人支援

① 介護職員初任者研修 in 袋井市

これまで浜松市にて定住外国人を対象にした介護職員初任者研修を開講してきたが、令和4年度は袋井市と協働し、袋井市の施設に就職を検討している定住外国人を対象に研修を実施。なお、介護施設向けの見学会やマッチングイベントを開催することで2名を就職につなげた。

期 間 令和4年5月14日～令和4年10月29日（全16回）

隔週土曜日 9:00～16:00、通信制

修了者 9名（ほか、中退者1名）

就職者 2名

② 日本語教育

① 企業向け日本語教室

賛助企業の坂下製作所と常盤工業株式会社にて従事している外国人労働者のための日本語教育を実施。現場で使える日本語を習得してほしいという要望が強いことや日本語能力試験対策を行なってほしいという意向もあったことから、オンラインを活用したり、音声・動画データを活用したりする工夫を加えて日本語教育を実践し、日本語能力試験N2合格者を輩出。

- 坂下製作所 毎週月曜日 17:15～18:45（全12回）
- 常盤工業 隔週水曜日（全24回）

② オンライン日本語チャットクラス

日本語を学びたい国内外の外国人を対象に、静岡文化芸術大学や日本大学の学生有志が日本語を使って会話練習をする機会を提供した。外国人の日本語学習のサポートやモチベーションを維持することを目的としていたが、HANDsの学生たちのフィリピンとの交流意義の理解を深める機会となった。

期間 令和3年4月～令和4年3月

毎週火曜日 20時～21時

③ 外国人介護職員就業開拓コーディネート事業（静岡県介護保険課）

県内の介護事業所を対象に、外国人の介護ワーカーを受け入れるにあたり不安に感じていたり、悩んでいたりすることなどを解消することを目的にコーディネーターを派遣し、課題解決をしていく。また、外国人介護職員の受け入れにあたり、事業所の現場の職員や管理職を対象にした講習に講師を派遣して、出張出前講座を行う。→委託事業者に採択されず令和4年度は実施せず。

④ <重点項目事業>フィリピン・カレッジ・オブ・テクノロジー(PCT)における日本語コースの開設

フィリピン国ミンダナオ州ダバオ市にあるフィリピン・カレッジ・オブ・テクノロジーと業務締結を結び、日本での就労や進学を目指す学生を対象に日本語教育を行った。PCTには、看護・介護コース、自動車整備コース、観光ビジネスコース、情報システムコースといった学部や専門コースがあり、4年生の学生から専門学校生まで多岐に渡り在籍している。そこで、卒業生を含む20代前半までの学生を対象に日本語コースを設け、就労を目指す学生たちの学びの場と、日本語教師の活躍の場の創出を目的として実施した。

期間 令和4年5月23日（月）～毎週月曜日（フィリピン及び日本の祝日を除く）午後2時～3時半（フィリピン時間）

目標 令和4年12月に実施予定のJLPT N4合格者を10人育成する

→20名中6名がJLPTを目指したが、12月にダバオでの実施が叶わず令和5年での実施に合わせて受験する。

⑤ 外国籍児童生徒のためのオンライン教科学習支援

公立中学校に通う中学1、2年生を対象とした夏休みの教科学習支援を行う。オンラインを活用し、大学生が子どもたちのバディとなり学習の振り返りやまとめを行った。

期間 令和4年8月22日～24日のうちの3日間

場所 浜松市立北星中学校

参加児童 2名、大学生3名

⑥ <重点項目事業>外国人留学生インターンシップ支援事業（浜松市補助金45万円）

浜松市内の中小企業事業者と外国人留学生をつなげ、留学生の雇用につながるようなセミナーやインターンシップ等を実施し、就労支援を行うことを目的

にした事業。当法人ではインターンシップは行わず、外国人留学生には無償でオンライン日本語教材を提供し、2日間の就職に向けたイベントと企業向けの外国人労働者受け入れセミナーを開催することを計画。

イベントでは、第1回目に日本人学生と留学生がバディとなりペアグループを形成し、双方の就職に対する悩みや不安・疑問、知りたいことなどを共有した。第2回目と3回目に留学生だけではなくフィリピンの大学生にも参加を呼びかけ、企業の経営者や採用担当者を招き、企業紹介を業種別にしてもらうことでターゲットを絞り、具体的な職業理解を深める機会を作った。浜松市の企業と海外の高度人材を繋ぐきっかけを創出した。なお、この運営は大学生有志メンバーで構成されたカケル2022というグループで企画運営を行なった。

- ① バディイベントの開催:留学生と日本人学生のバディチームによる「就職のための企業を知る」イベントを開催。留学生と日本人とが就職前に具体的に気になる業種や職種をあげ、内定が確定した留学生から就職活動でのアドバイスを得た。

日時 令和4年8月8日(月) 20:00~21:30

オンライン実施

参加者数 日本人学生3名、留学生5名



- ② 企業紹介イベントの開催:フィリピンカレッジオブテクノロジーにて、フィリピンの現役大学生(卒業生を含む)に対して、業種別に、遠州鉄道(株)、SPLIZA(株)、社会福祉法人松風、呉竹荘が企業紹介をし、当該企業へ就職するに必要な心構えや採用に関する情報を提供するオンラインイベントを開催。また、現地学生たちに日本語を学びながら日本への就職を目指してオンラインマッチングもできるサイトの紹介を行う。静岡大学の協力を得て現役大学生のチームが実施。いずれもオンライン実施。

- 日時 令和4年9月5日(月) 14:00~15:30

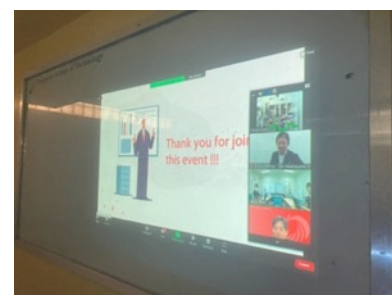
参加企業:遠州鉄道株式会社、株式会社 SPLIZA

大学生数:8人

場所:静岡大学、フィリピンカレッジオブテクノロジー

- 日時 令和4年12月9日(金) 15:00~16:00

参加企業:呉竹荘 大学生数:80人



場所：呉竹荘、フィリピンカレッジオブテクノロジー

● 日時 令和5年1月17日（火）11:00～12:00

参加企業：社会福祉法人松風 大学生数：10人

場所：特別養護老人ホームみずうみ ※みずうみで1名内定

- ③ セミナーの開催：外国人を雇用している、またはこれから雇用しようと考えている企業を対象に、外国人労働者の適正な受け入れ体制の構築のため、SDGs や ESG 投資の観点からも企業に必要な取り組みとしての人権デューデリジェンスについて学ぶ機会を提供した。

日時 令和5年2月3日（木）13:30～16:00

場所 グランドホテル浜松

協力 国際労働機関(ILO)

参加者数：110人 参加企業数：50社

講師：ILO 駐日事務所代表 高崎真一氏、
スズキ株式会社代表取締役社長 鈴木俊宏氏
国際経済研究所理事長 藤沢久美氏



- ④ 現地訪問・対面インタビュー：フィリピンを訪問し、高度人材の教育事情や雇用状況などを知る機会を提供し、日本への就労を希望している学生むけにオリエンテーションを行った。また、学生と企業の対面での対話機会を設け、外国人材に対して日本企業への関心を高め、日本への就労に対する意識啓発を行った。企業側には、フィリピンでの教育カリキュラムの内容や取り組みについて理解を深めてもらった。

また、ダバオ市のセバスチャン・ドウトルテ市長にも面会し、ダバ



オ市と浜松市の人的や経済交流についての意見交換を行った。

期間 2月27日(月)～3月2日(木)

訪問企業 呉竹荘



※左から4人目がダバオ市長

⑦ <重点項目事業>地域中小企業のための外国人財獲得オンラインマッチング
グハンズオン支援事業(中小企業庁補助金 約850万円)

コロナ禍を契機とした経済社会の変化で新たに発生した喫緊の地域ニーズである中小企業の外国人財確保の課題に即座に対応するため、①ITを活用した外国人財と地域中小企業のオンライン・マッチング、②個社・個人に対するハンズオン支援のプラットフォームを構築した。

期間 令和3年11月1日～令和4年8月17日(補助事業期間)

BLOOM JAPAN
English Japanese
外国人 新規会員登録
企業 新規会員登録
日本で自分らしく働きたい
外国人
Foreigner
即戦力の高い人材を採用したい
企業
Enterprise
登録・閲覧 無料
オンラインマッチングサービス

次世代育成事業

1. 学生ボランティアセンター事業（学生 FRESH 事業）

学生ボランティアセンターでは、浜松市内で社会貢献活動に励む大学生のボランティア団体を対象に、学生個人の知識や団体の質の向上を目指し、より良い浜松の未来のためにネットワークを構築し、課題や情報の共有を図るために活動をしている。静岡大学、静岡文化芸術大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、静岡産業大学の学生や他県の学生団体代表らが参加。年 5 回の交流会兼会議とフォーラムを 1 回実施した。その学生ボランティアセンターの運営に携わる学生団体 FRESH の顧問として代表理事が携わるほか、当法人が学生 FRESH の組織運営（経理事務代行）や活動支援を行った。

- 学生ボランティアフォーラム
令和 5 年 2 月 12 日（日）13:30～17:30
参加者数 10 団体 20 名

2. 学生団体支援事業

① Wide International Support In Hamamatsu (WISH)

外国につながる子どもたちの学習支援を行う学生団体（静岡文化芸術大学を中心とした大学生により構成）の活動を指導・支援した。就学前支援は 2 年前から実施が難しかったことから、令和 4 年度は NPO 法人日本・日本文化研究所と協働し、NPO が浜松市から受託した事業就学前プレスクールに補助者として参加。保護者の通訳や児童の学習支援に携わった。

- 夏休み学習支援
令和 4 年 8 月 22 日（月）～24 日（水）10 時～12 時 全 3 回
参加者数 生徒 2 名、大学生 3 名

- プレスクール支援活動

期間 令和 5 年 1 月 14 日（土）～3 月 11 日（土）10 時～12 時

場所 可美総合センター

対象 新 1 年生 35 名

大学生 2 名

協力 浜松市教育委員会、NPO 日本語・日本文化研究所

② HANDs

浜松ダバオ友好協会と協働し、浜松から中古鍵盤ハーモニカをダバオ市の学校に寄贈し、音楽交流を深めるプログラムを実施。HANDsは浜松市内の大学に通う主に静岡文化芸術大学の学生たちによって構成。中古鍵盤ハーモニカの収集、音楽交流プログラムを企画運営するだけでなく、実際にダバオ市を訪問し、フィリピン文化を体感することを目的としてフィリピン研修を行った。また、音楽交流だけではなく、大学の授業体験や日本文化紹介、浜松を英語でプレゼンテーションするなどの交流活動を行なった。さらに、帰国後は鍵盤ハーモニカの寄贈者を招待し、写真展を開催。事業報告を行った。また、昨年度ブラジル人学校に寄贈した鍵盤ハーモニカを使って、ブラジル人生徒たちとの演奏会も実施した。チアホーザ校にはリコーダー50台を寄贈し、音楽活動やブラジル料理の体験、ブラジル人児童との交流を行なった。

- ブラジル人学校演奏会

EAS 令和4年9月21日(水)

チアホーザ 令和4年9月23日(金)

- ダバオ訪問

期間 令和5年2月21日(火)～27日(月)

訪問先 フィリピンカレッジオブテクノロジー、
ダバオシティナショナルスクール

在ダバオ日本総領事館、ダバオ博物館(日本移民の歴史)

チョコレート農場 他





3. 日本語教師研修

当法人の日本語教育を担いたいと考えている日本語教師を対象に、「ナラティブで学ぶ日本語 160 時間」を活用したオンライン日本語教育システムを理解してもらい、オンラインで行われるスモールグループでの日本語教育を行うことのできる人材を育成するための研修を行った。企業内日本語教室や海外での日本語教育に携わることのできる人材を輩出することを目指した。

また、オリエンテーションを実施し、より理解を深めてもらった上で、当法人の日本語教育事業に携わることを決めていただく仕組みを作った。

期 間 オリエンテーション 令和4年6月4日 10:00~12:00

教師研修 令和4年7月16日(土) 10:00~12:00、13:00~15:00

講 師 澤田幸子(おおぞら日本語サポート)

その他、事業

1. 視察受け入れ・講師派遣事業

専門機関の調査研究や大学院生の研究等のために当法人の事業視察受け入れやインタビュー引き受けを行なった。講師派遣はエイチアールが受諾し、その庶務対応等を社団が行う流れで実施した。

講師派遣：静岡大学、三重大学、自治体国際化協会、全国市町村国際文化研究所、東京都、岡山県

視察来所：可児市

2. 有料職業紹介事業

袋井市での介護職員初任者研修修了者を対象に職業紹介事業を始めた。浜松市の給付金窓口の受付採用についても求人紹介を行なった。また、オンラインマッチングシステムの提供により国内外に対象枠を広げて活動ができるよう基盤整備に努めた。

職業紹介者数

申込者数 求人6件、求職12件

マッチング成立件数 4件

3. 職場の外国人受け入れ環境整備プロジェクト

令和4年度よりダイバーシティ研究所が主体となる事業ではなく、当法人が主体事業者となり実施。外国人労働者を雇用している事業所を対象に、外国人労働者の受け入れ環境を整備する仕組みを提供するプロジェクト。今年度は優良企業認定を実施し、より多くの事業所に参画を呼びかけた。

また、初級監査人、上級監査人ともに人材育成を実施し、より多くの国民の理解を促せるよう、特に上級監査人にはメルマガの記事執筆などを依頼し、本事業に参画することで情報共有や仲間意識が生まれ、コミュニティを作ることができることを認識してもらえるようにした。

留学生カケル 2022 と連動し、企業への周知も図り、名古屋出入国管理局とのネットワーク構築も行なった。

- 監査人人材育成

初級監査人 通年 33 名 ※令和 5 年 3 月末

上級監査人 実地研修 令和 5 年 1 月 26 日（木）

- 優良企業認定 平野ビニール工業株式会社、株式会社東海理化

- 名古屋出入国管理局とのネットワーク会議

第 1 回 令和 4 年 9 月 16 日（金）@常盤工業 対面実施 15 名

第 2 回 令和 4 年 11 月 25 日（金）オンライン 15 名

ゲスト 厚生労働省外国人雇用対策課

第 3 回 令和 5 年 2 月 2 日（木）対面実施 15 名

4. その他

① 情報提供事業

ホームページや Facebook を活用して、当法人の活動に関する様々な情報を提供し、雑誌や新聞の取材を受入れ、活動の意義や社会的課題を発信した。また、積極的に SNS での広報を行なった。情報発信業務を大学生アルバイトが行うことで、より活発的な情報提供となった。

② 浜松ダバオ友好協会

これから受け入れを始めようとしているフィリピン出身の外国人材にとって、浜松市がより魅力的な街であるように、浜松ダバオ友好協会の運営に参画したが、新型コロナウイルスの影響のため活動が休止。今年度からはグローバル人財サポート浜松が主体となって活動を行なった。

③ 図書の販売

外国人技能実習生や特定技能の外国人向けに「みんなの介護」や日本語教育の教材「ナラティブで学ぶ日本語 160 時間」の販売促進に協力。

④ 翻訳・通訳業務

県営佐鳴湖団地の改修工事に伴い、住民の居住部屋の移動等に関する通知の翻訳や説明会時の通訳などを行なった。